

## 公正な社会への日本語教育からのアプローチ

～多文化社会で多様性を考える対話教育の提案～

「2020年」の節目も控え、日本社会への外国人受け入れ拡大に関して議論されています。けれども、わたしたちはすでに、外国人を含めたさまざまなバックグラウンドをもつ多くの人々とともに生きています。一方、国際化・多文化化の流れとはうらはらに、一見平和なこの社会には、一皮めくると、言語や国籍の違う人たちに対するヘイトスピーチばかりではなく、ごく身近な家庭や仲間内でも「カジュアルなレイシズム」などと呼ばれる現象がふいに出現してしまっています。

こうした社会の分断と対立を、暴力ではなく「対話」によって解決していくために、日常的に異文化を経験しそこで交渉し理解し合う力の必要性を知るわたしたち日本語教育関係者が貢献できることがあると考えました。

今般出版した『多文化社会で多様性を考えるワークブック』の理念と内容を紹介しつつ、公正な社会を創出する市民の育成に日本語教育がどのようにかかわれるのか、本セミナーでは参加者のみなさんとともに考え議論していきたいと思えます。

講師：有田 佳代子  
敬和学園大学（新潟県新発田市）  
人文学部 特任准教授

講師：志賀 玲子  
東京経済大学・一橋大学 非常勤講師

講師：渋谷 実希  
一橋大学大学院・東京大学 非常勤講師

日本語教師  
以外の方も  
歓迎です！



『多文化社会で多様性を考えるワークブック』  
編著者：有田 佳代子，志賀 玲子，渋谷 実希  
著者：新井 久容，新城 直樹，山本 冴里  
研究社（2018/12/19）

申込ページ！

日時・場所：  
2019/2/16（土） 13:00～16:00  
琉球大学 地域国際学習センター 203 教室  
※放送大学と同じビルです。

参加費無料、どなたでも参加できますが、必ずこちらのページで  
申し込んでください。会場の関係上、40名定員とさせていただきます。

